

令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	新編 現代の国語（数研出版）					
学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度		
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。		
評価の方法	上記3つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容、定期考査等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	書き手の意図をつかむ		「目指す世界の地図を作る」「ものづくり」 ・筆者の意図や表現上の工夫について自分の考えを書く。文章内容に関連した具体例を考え、発表する。 「時間とは何か」「地球を旅する水の話」 ・文章の構成を接続語に注意してまとめる。文章内容を自分にひきつけて考え、検討内容を発表する。 「水の東西」「里山物語」 ・文章内容に関連した具体例を探し、その内容を簡潔にまとめる。特定の言葉について文章の内容を踏まえて説明する。			
	文章の展開を把握する		「世間話はなぜするか」「非言語コミュニケーション」 ・文章内容を踏まえて、具体的な会話場面における話し手の意図について考える。文章の内容を踏まえて考えたことを根拠を明示して話し合う。 ・写真を文章で説明する ・広告コピーを書く ・表現の工夫を読み取る（新聞） ・スピーチ ・文章構造を理解する・要約する			
後期	対比を読み取る		「語感トレーニング」「コインは円形か」 ・同じような意味の、語種が異なる語を複数挙げて、語感の違いについて話し合う。自分の認識のあり方について振り返り、具体例を挙げながら話し合う。 「科学と非科学」「科学的とはどういう意味か」 ・筆者の主張に対する自分の意見を根拠を明確にして述べる。特定の言葉について、二つの文章に共通する考え方を読み取り、説明する。			
	コミュニケーションと言葉		「『差』という情報」「『わらしべ長者』の経済学」 ・文章に関するテーマで意見文を書く。筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめ、意見交換をする。 ・文章の構成を工夫して提案する（企画書） ・課題を発見し解決策を発表する（SDGs解説文） ・グラフをもとに話し合う（アンケート調査） ・ディベート・討議 ・プレゼンテーション ・比較する・意見文を書く			
後期	日常の中の文章					
	話し言葉の技術 書き言葉の技術					